

輸出事業計画

※申請者名：株式会社 みやざき一茶園

品 目：有機茶（碾茶・煎茶）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

(株)みやざき一茶園は、海外で需要が増加している碾茶の製造に取り組むため、新たに工場を整備し、生葉買取による分業型の碾茶製造、販売を中心に事業展開する会社として、令和6年11月に設立した。代表取締役をはじめとする役員及び協力農家は、「オーガニックティーミヤザキ」（以下、「OTM」という）に参画しており、これまで一貫して有機茶（煎茶）の輸出に取り組んでいる。

【課題】

抹茶を含む粉末状の緑茶の需要が伸びる中、煎茶だけではなく碾茶を含めた荒茶製造へとシフトしていくことが求められている。

2. 輸出事業計画の取組内容

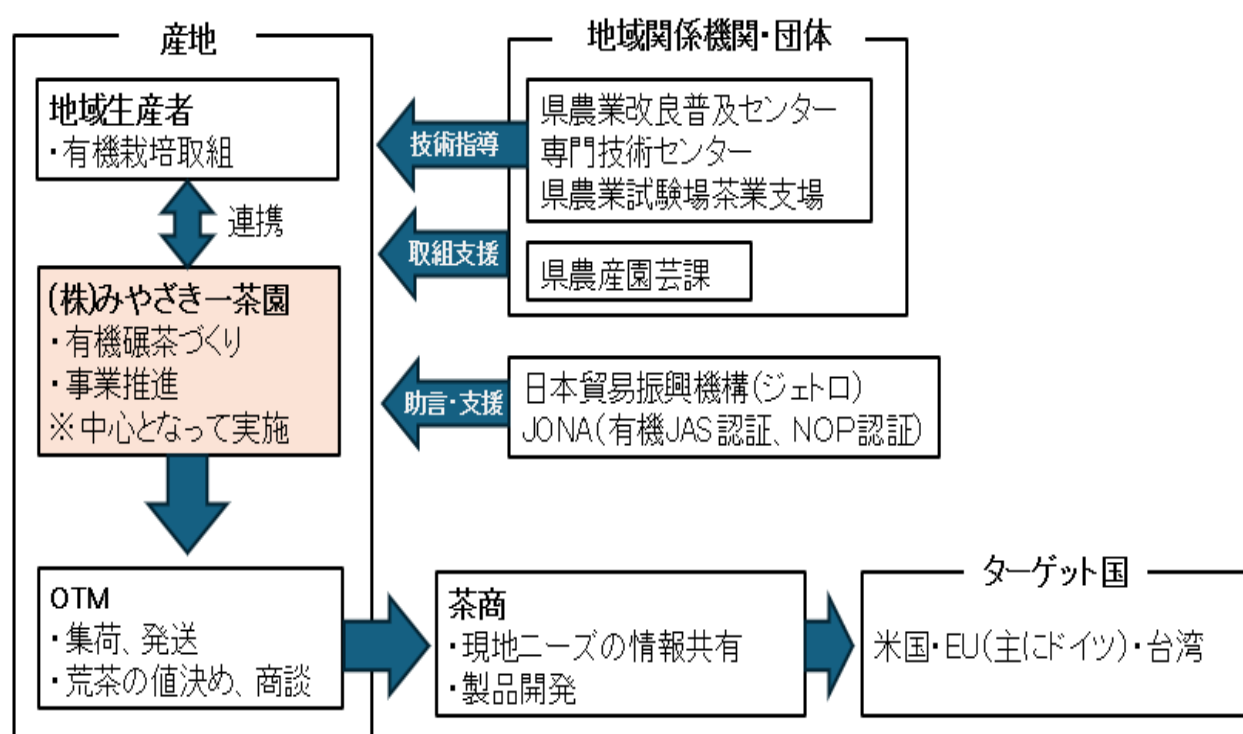
①碾茶生産加工施設の整備

碾茶工場を整備することで、需要に応えられる生産体制を構築する。新たな有機碾茶の産地をけん引するリーダー役を担い、産地の維持、発展に取り組む。

②販売・流通の取組み

- ・生葉買取による分業型の碾茶製造を進め、生産農家から荒茶製造業務を分離することで労力軽減するとともに生産性を高める。茶商を経由した間接輸出とすることで販売も分業し、生産に集中する。
- ・広域集荷体制の強化により、安定した原料調達の体制を確立する。
- ・輸出商談会や輸出先への視察等により、新たな販売先の確保や、相手方の需要や要求に応じた商品づくりに取り組む。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

※申請者名：株式会社 みやざき一茶園

品 目：有機茶（碾茶・煎茶）

4. 輸出目標額

輸出品目：有機茶（碾茶・煎茶）※間接輸出

		現状 (令和5年度) (令和5年4月 ～令和6年3月)	目標年 (令和12年度) (令和12年4月 ～令和13年3月)	備考
宮崎市・小林市・ 高原町・西都市・ 都城市	輸出額(千円)	92,630	316,781	
	輸出量 (kg)	84,664	149,824	
	輸出先国	米国、EU、台湾	米国、EU、台湾	米国：EU：台湾 = 4：3：3 ※EUは主にドイツ
	生産量 (kg)	168,811 (すべて煎茶)	214,035 (うち煎茶173,700、 碾茶40,335)	

なお、上記の現状（令和5年度）の数値等については、OTMなど協力農家の実績である。